

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※ [] 内の番号は、日本十進分類法 (NDC) 新訂 10 版による分類記号です。



移民が増えて、いいことって何だろう？

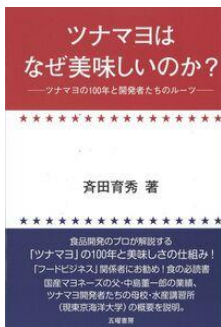
—対話と議論にむけた12のギモン—

佐藤友則 著

ジャンル：現代社会を見つめる

明石書店 2025年9月 2000円 ISBN: 978-4-7503-5987-8

移民が増えたら治安が悪くなる？ 日本の文化が壊れる？ といった12の疑問を、若手新聞記者の主人公が取材を重ねるストーリーで解きほぐす。インタビューを交えて彼らの日本での暮らしを紹介し、移民への誤解や不安の解消を目指す。ベルギー人の大学教員が救急車の呼び方がわからず困った例なども伝え、誰もが暮らしやすい社会を実現するためには何が必要かを問いかえす。やさしい日本語で話しかける等、すぐにできる交流手段も示され、多文化共生への一歩を踏み出すきっかけになる。[334.41]



ツナマヨはなぜ美味しいのか？

—ツナマヨの100年と開発者たちのルーツ—

齊田育秀 著

ジャンル：知識・教養を深める

五曜書房 2025年12月 1200円 ISBN: 978-4-434-36991-9

自らも開発者として民族ごとの食の好みを研究してきた著者が、ツナ缶やマヨネーズの歴史を当時のラベルや広告の写真とともにたどり、ツナマヨが日本人に好まれる理由を探る。ツナ缶もマヨネーズも欧米が発祥で、戦後の食生活の洋風化によって日本でも定着した。日本人の味覚構造にうま味の相乗効果が合致し、サラダをはじめ、ピザやコンビニのおにぎりなど、ツナマヨ味は幅広い年代に受け入れられたという。外来文化を融合させた日本の食文化の奥深さを知ることができる。[667.9]



戦前戦後の暮らし方 —「90歳」の証言集—

古川柳蔵、三橋正枝 編

ジャンル：歴史・文化に親しむ

筑摩書房 2026年1月 2300円 ISBN: 978-4-480-01835-9

「90歳ヒアリング」と題して、全国の600名を超える90歳前後の方々に、戦前の暮らしについて聞き取り調査を行った。食事や遊びなどのテーマに分け、彼らの言葉をそのまま紹介する。寝苦しい夜に、橋の上で星を見ながら涼をとったり、雪や川を利用して山から採った木を運んだり、人は自然と共存していた。当時の暮らしは、現在と比べると不便だったかもしれないが、心の豊かさや生きている充実感が伝わる。失われつつある日本の暮らしを、生きた言葉で感じることができる。[382.1]

世界は団地でできている –映画のなかの集合住宅 70 年史–

団地団 著

ジャンル：現代社会を見つめる

集英社 2025年8月 990円 ISBN: 978-4-08-721375-1

写真家や小説家、漫画家などによるトークユニット「団地団」が、団地が印象的に登場する「団地映画」を取り上げる。『耳をすませば』では、団地でのいきいきとしたあたたかな日常が描かれる一方、『PLAN75』では、老朽化した団地での孤独な高齢者の暮らしが映し出される。作品ごとの描写の違いから、家族、風俗、ジェンダー、創作など社会の価値観や人々の意識の移り変わりを読み解くことができ、興味深い。団地についてより理解を深めたい人のための書籍リストも収録。[365.35]

「面白い！」を見つける –物事の見え方が変わる発想法–



林 雄司 著

ジャンル：暮らしにうるおいを

筑摩書房 2025年11月 900円 ISBN: 978-4-480-68542-1

ウェブメディア運営者が、日常の「面白さ」を発見し深める方法を伝授する。寄り道をして景色を眺める、行き交う人の会話に聞き耳を立てる、百貨店などで普段は行かない売り場に行くなど、意識するだけで面白さの種になる違和感や意外性を見つけられる。また、当たり前だと思込んでいることの逆を試みる、一見無関係なものに共通点を見出すなど、固定観念に捉われず発想を転換させると面白さはより膨らむという。毎日を楽しくするアイデアが満載で、つい実践したくなる。[141.5]

どすこい！相撲と乗り物 –世界を駆ける力士たちの舞台裏–

飯塚さき 著

ジャンル：歴史・文化に親しむ

交通新聞社 2025年12月 1000円 ISBN: 978-4-330-06425-3

乗り物好きの相撲ライターが、力士の移動に焦点を当て、相撲界の舞台裏を解説する。大相撲の地方場所や巡業では、親方衆や裏方を含む約 200 人が全国を移動し、その手配を輸送係の行司が細やかに行う。大型バスにみっちり乗る車内風景や、海外遠征でロンドンタクシーのような現地の乗り物に驚く様子も描かれ、土俵では見られない力士の素顔が微笑ましい。相撲と交通という意外な組合せから、大相撲やアマチュア相撲を支える人々の苦労や熱気が伝わり、相撲観戦に出かけたくなる。[788.1]

大阪市立図書館では、図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、「あなたにこの本を！」選定委員会で推せんする図書を選び、「月刊あなたにこの本を！」を発行しています。生涯学習に役立つよう、また、多くの人々に読書に親しんでいただけるよう、幅広い視点で図書を選んでいきます。

バックナンバーは大阪市立図書館ホームページでご覧いただけます。また、「あなたにこの本を！」に選んだ図書の書誌データと紹介文を、オープンデータとして公開しています。1冊ずつにジャンルと紹介文をつけていますので、ご活用ください。

大阪市立図書館「あなたにこの本を！」 <https://www.oml.city.osaka.lg.jp/page/413.html>

